

令和2年度 中高生勉強会「学びiプレイス」実施報告

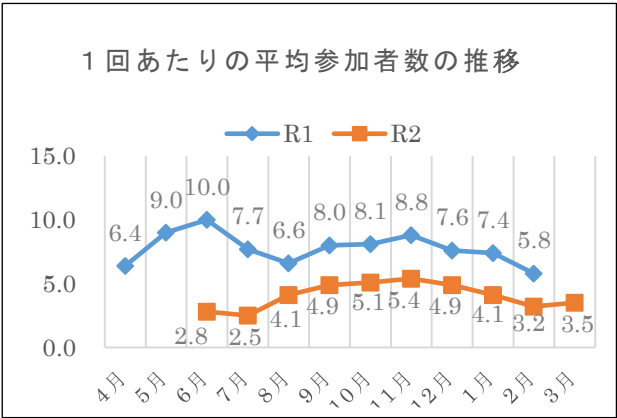
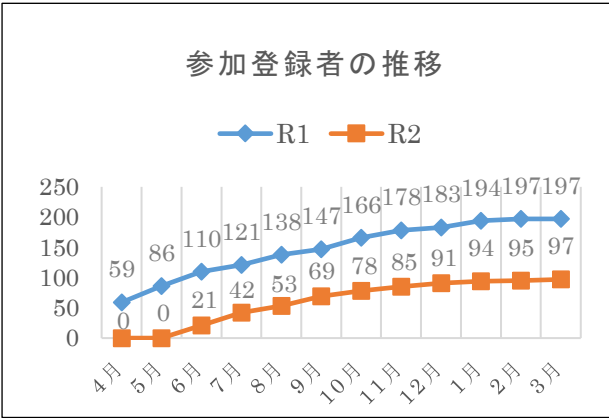
中学生及び高校生（相当年齢の者を含む）に学習の場を提供し、大学生等のボランティアによる学習支援と相互交流をとおして、社会性や自己肯定感を育む場となる中高生の居場所づくりを目的に中高生勉強会「学びiプレイス」を実施したので、その結果について報告する。

1 実施期間

令和2年6月2日から令和3年3月19日まで。（4・5月は感染拡大防止のため中止）

2 日時・会場・実施回数・参加状況

会 場	曜日	時 間	回数	登録者数	延参加者数	前年度 延参加者数
まなぼーと大原	火	18：00～20：00	3 6	1 8	1 1 6	2 9 0
高島平図書館 高島平区民館(9月～)	水	17：00～19：00	3 2	2 5	2 6 7	4 4 2
教育支援センター		18：00～20：00	3 9	2 5	1 7 6	4 6 8
教育科学館	木	17：00～19：00	2 2	1 4	7 7	2 0 3
まなぼーと成増	金	18：00～20：00	3 6	1 5	7 7	1 5 1
計			1 6 5	9 7	7 1 3	1,554



3 学年別参加状況（各会場における学年別延参加者数）

会 場	中 学 生 (47%)			高 校 生 (53%)				計
	1 年 (12.2%)	2 年 (19.4%)	3 年 (15.7%)	1 年 (35.8%)	2 年 (6.0%)	3 年 (10.9%)	相当者 (0%)	
まなぼーと大原	5	26	41	26	3	15	0	116
高島平図書館/区民館	21	78	14	144	1	9	0	267
教育支援センター	27	34	34	47	30	4	0	176
教育科学館	33	0	3	25	0	16	0	77
まなぼーと成増	1	0	20	13	9	34	0	77
学年別計	87	138	112	255	43	78	0	713
中高別計	337			376				

4 委託事業者

特定非営利活動法人 キッズドア

5 委託料

11,088,000円

6 実施状況

当初の予定では、4月からの実施を計画していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4月・5月は中止とした。6月に実施可能な施設から段階的に開始し、7月には全5会場での実施が可能となった。

9月からは、感染防止対応の一環として、高島平地域の会場を高島平図書館から高島平区民館に変更し、より広い会場で「3密」を避けるよう環境整備を行った。

1月から3月までは、緊急事態宣言の発出に基づく対応として、開催時間を30分早め、17時30分から19時30分に変更のうえ、可能なかぎり継続して実施に努めた。

但し、教育科学館会場では、併設の地域センターの対応に伴い、夜間の利用ができなくなったため、1月から3月までは中止とした。

その他、新型コロナウイルス感染症の影響により、実施回数の変更及び本事業での感染防止対策、参加状況については(1)(2)(3)のとおり。

(1) 実施回数の変更

当初の計画では、5会場で各40回(計200回)の実施を計画していたが、4月・5月の中止及び1月から3月まで1会場での中止により、合計165回の実施となった。

(2) 感染防止対策

本事業では、実施にあたり、各実施会場で毎回、以下の感染防止対策を実施した。

①口頭及び掲示による防止対策の周知、②アルコールでの清拭による机・椅子等の消毒、③手指消毒の徹底、④体調確認(検温等)、⑤マスク着用の徹底、⑥会場の換気、⑦間隔を確保した座席配置、⑧密集の回避、⑨各日の出席者の把握

(3) 中高生の参加状況

前頁の2で示したとおり、令和元年度と比較して、参加登録者数及び延参加者数ともに大きく減少した。

原因としては、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、中高生も総じて外出を自粛していることから、本事業への参加を控えている状況が伺える。特に、中学生にこの傾向が強く、令和元年度までは、中学生が参加者全体の約80%であったところ、令和2年度は、中学生が47%、高校生が53%となり、例年よりも高校生の占める割合が高い状況であった。

7 実施内容

(1) 学習支援

参加者が持参する教材を使い、個々の状況に応じて寄り添い型の支援を基本とした。

参加者が少ない状況が続いたが、支援者がより丁寧に対応することができ、推薦入試を控えた受験生には、面接の練習を交えるなど、一人ひとりの希望に沿った支援に努めた。

事業終了後には、毎回、支援者による振り返りを行い、参加者ごとの学習記録の作成及び情報共有を行うとともに、支援時の感染防止についても話題とし、各会場の特性に合わせて工夫しながら取り組んだ。



(2) 相談

コロナ禍にあり、長い休校期間を経て、参加者の中には、自粛やさまざまな活動の制約などからストレスを抱える生徒が多くみられた。特に、1回目の緊急事態宣言が解除された直後であった6月には、本事業の開始を待って、支援者に話を聴いてほしいという高校生の姿が目立っていた。

また、家庭の経済状況を心配し、進学に対する不安を訴える参加者が複数あり、受託事業者の特性を生かし、奨学金制度やその他の支援に関する情報提供を行うなど、個々の状況を踏まえて必要な支援を行った。

(3) 交流

本事業では、中高生と年齢の近い大学生等のボランティアや事業者スタッフが支援にあたっており、参加者にとっては、話しやすい雰囲気や関係性が醸成されている。

回を重ねるにつれ、学校や学年の違う参加者同士、参加者と支援者も交えて、アニメ、ゲーム、鉄道など、共通の話題で交流する様子も多くみられた。

また、中学生が高校生に高校生活や入試のことを尋ねたり、高校生が大学生の支援者から大学生活や就職活動の話を聴いたりするなど、自然なかたちで進路を考えるきっかけとなる交流も生まれていた。

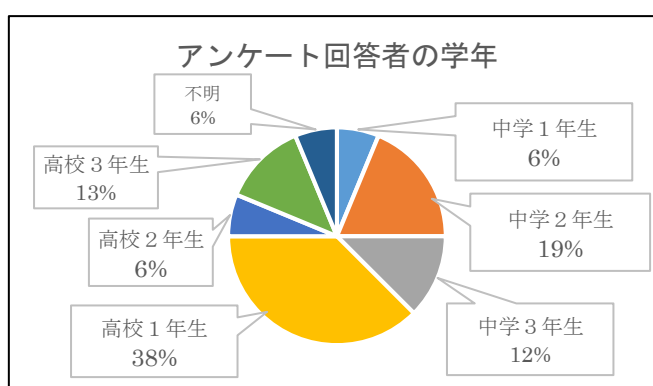
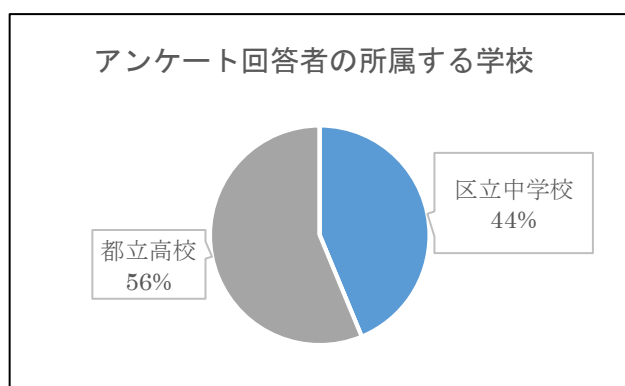
8 参加者に対するアンケート結果

(1) 実施期間・実施方法

令和3年2月の事業実施中に、各会場で参加者アンケートを実施した。

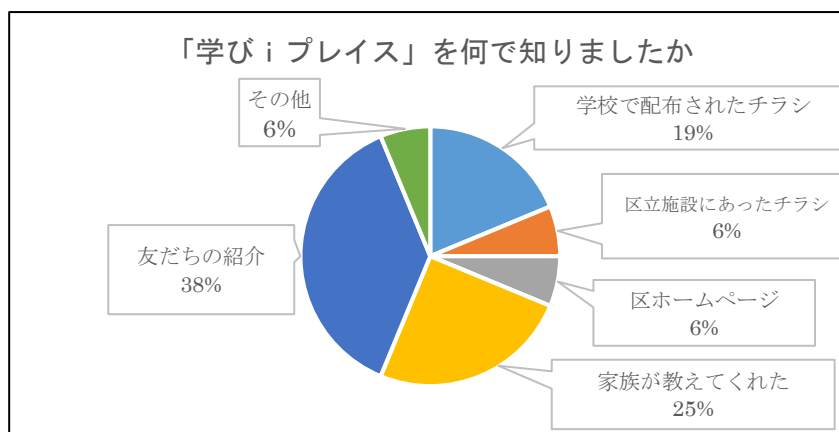
(2) 回答者について

回答者数16人

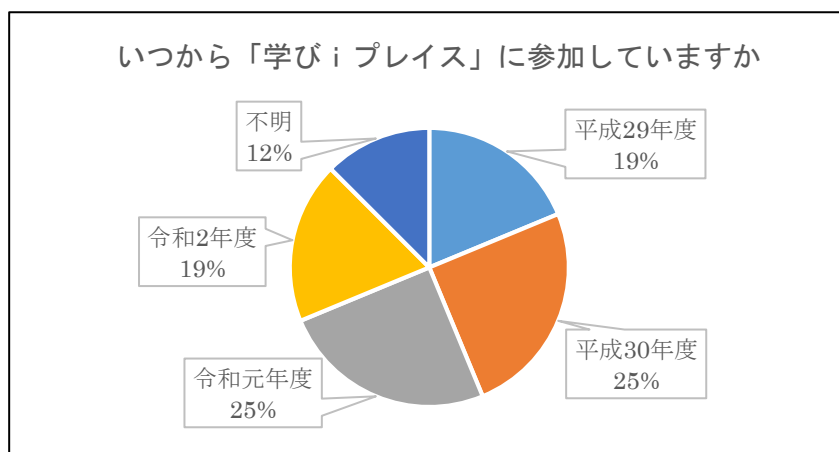


(3) 回答結果

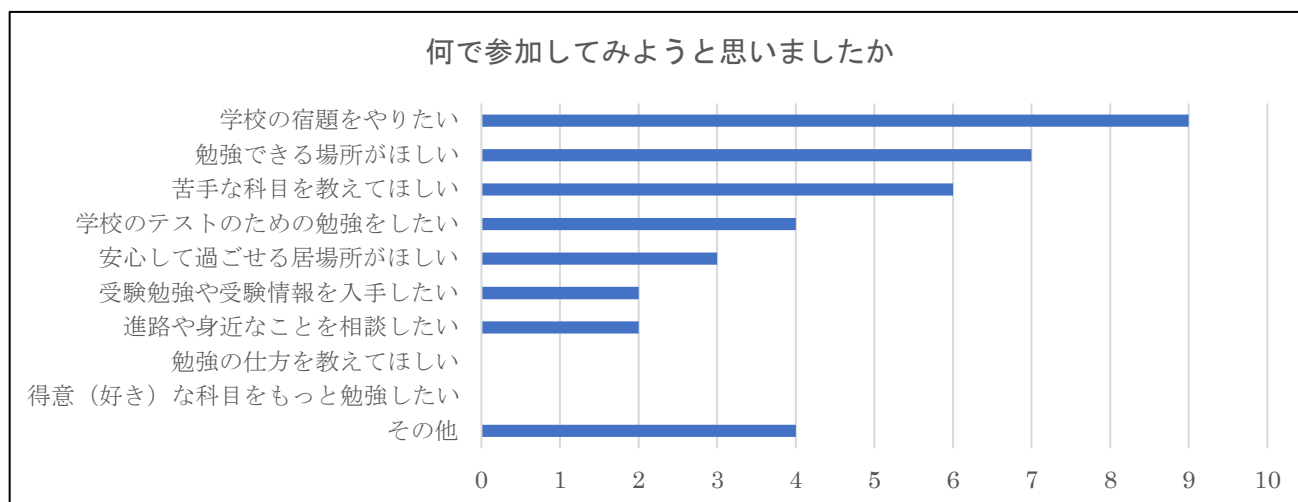
①本事業を知ったきっかけ



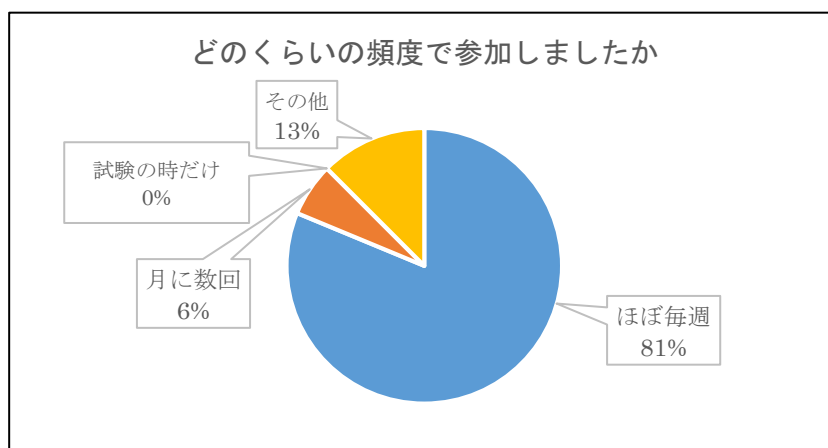
②本事業への参加歴



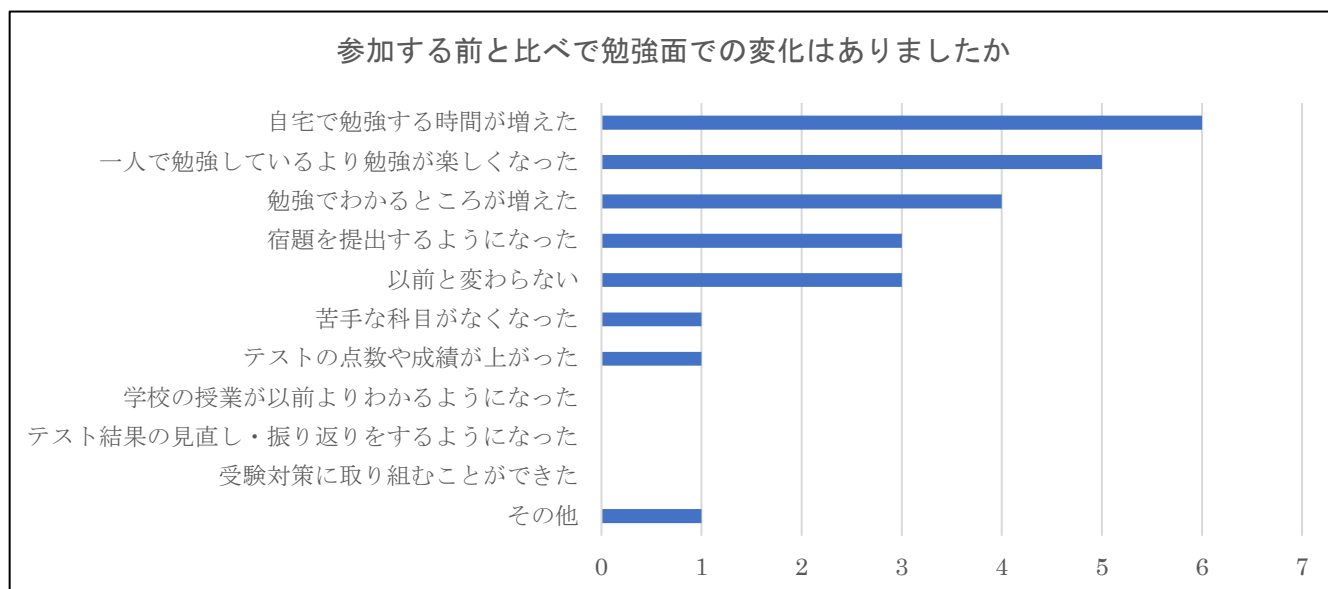
③参加動機



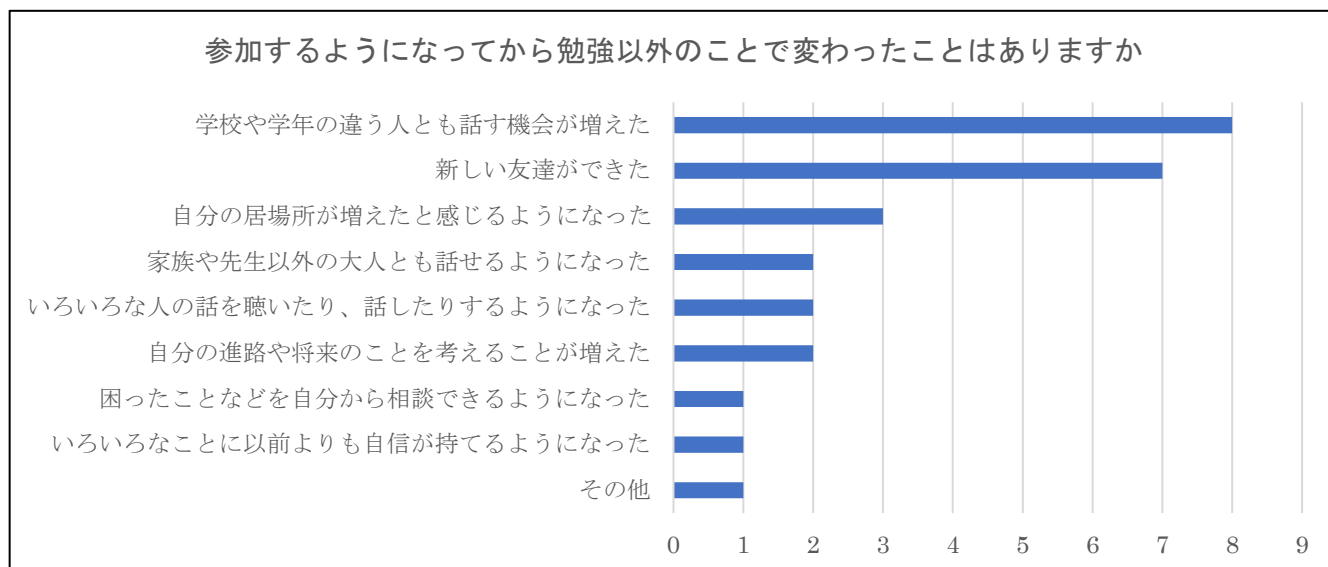
④参加の頻度



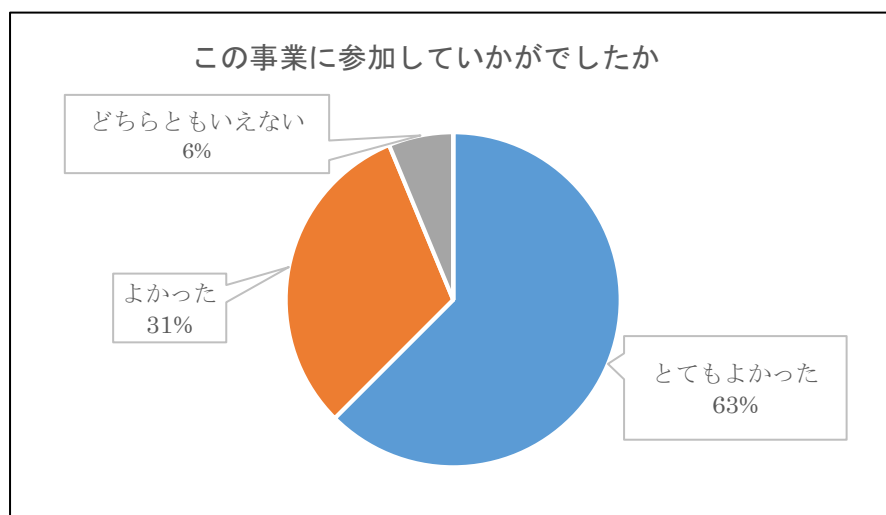
⑤勉強面での変化



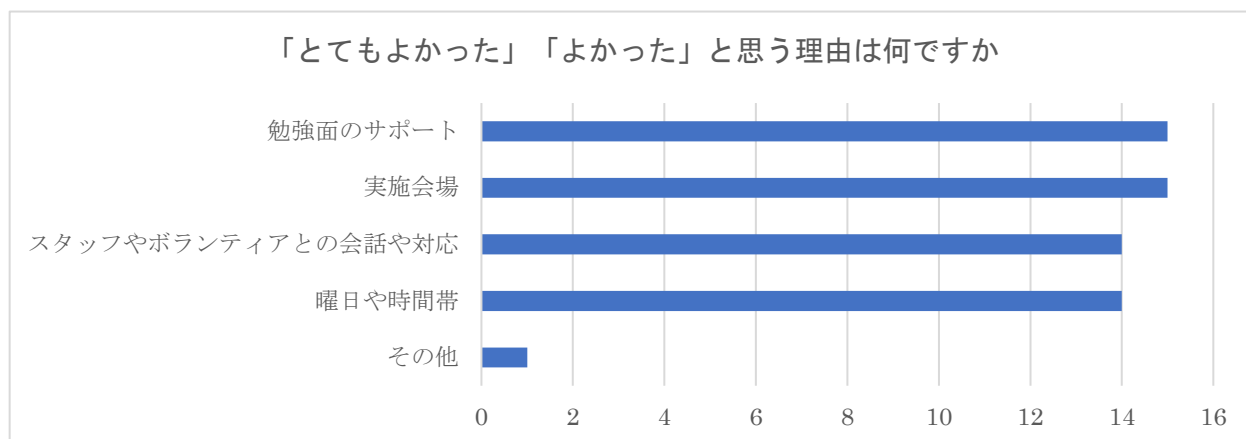
⑥勉強面以外での変化



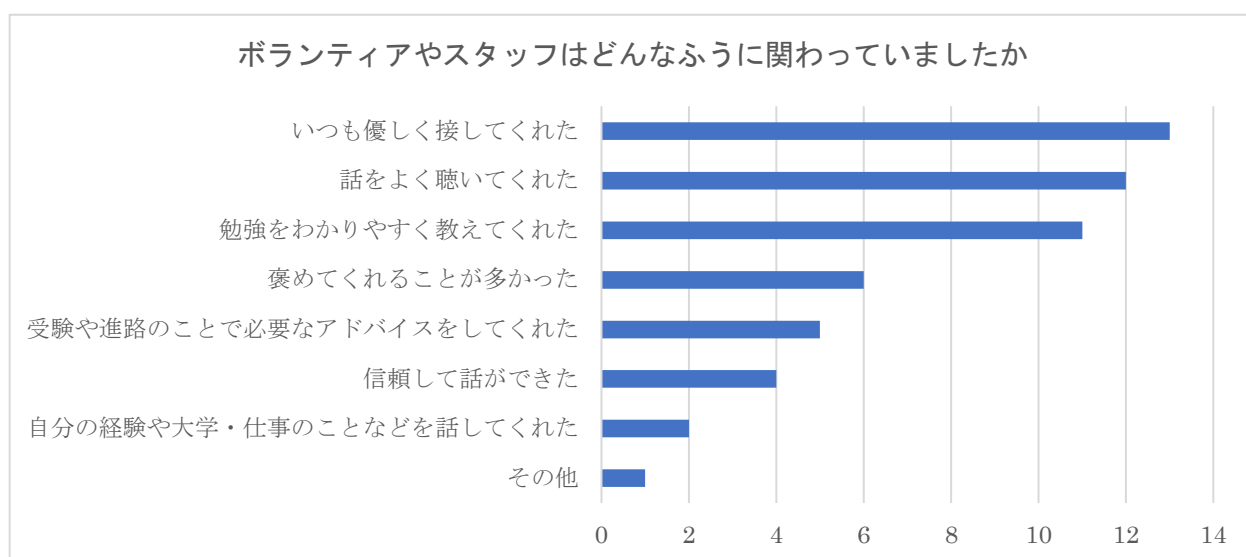
⑦本事業への評価



⑧評価の理由



⑨ボランティア・スタッフの対応



⑩自由意見（原文）

○みんなやさしくて、とても楽しいです。（中学2年生）

○いつも勉強を教えてくれてありがとうございます。とてもとても分かりやすいので、すぐにわかることができます。これからもよろしくおねがいします。（中学2年生）

○いごこちいいからもっとやっていいと思う。楽しい。（高校1年生）

○優しい対応かつ丁寧な説明で分かりやすく、友人と集まれるので唯一気を抜ける場所です。有難うございます。これからも利用させていただきます。（高校1年生）

○いつも、親身に教えてくれて本当にありがとうございます。（高校2年生）

○一年生のときから参加させてもらっていて、勉強面の充実だけでなく、自分の居場所を確認することもできた素晴らしい空間だったと感じました。多分今回の参加が最後となるのですが、約二年間お世話になりました。ありがとうございました。

（高校3年生）